



統計スポット情報

No. 39

12.6.30 福井県総務部情報政策課

マスメディアへの支出 (あなたは映像派、活字派)

今回は、「家計調査年報」から、福井市におけるマスメディアへの支出動向をみてみましょう。

マスメディアには、新聞、雑誌・週刊誌、書籍などの活字メディアと、テレビや映画などの映像メディアがあります。

福井市の1世帯あたりのマスメディア全体への支出金額は、99年には、年間72,727円となっています。その内訳をみると、活字メディアへの支出金額の割合は、85年は約77%だったものが99年には約59%と18%も低下し、その分映像メディアの割合が上昇して約41%となっています。家計消費からみた消費者の求めるメディアは、活字から映像へとシフトしていることが伺えます。(図1)

そこで、映像メディアの中で支出金額の大きい放送受信料についてみますと、99年は、1世帯あたり年間25,027円となっています。物価の上昇分を除いた実質的な支出金額の推移をみますと、85年と比較して2.25倍になっています。(図2)

一方、活字メディアについて実質金額の推移をみますと、85年と比較して雑誌・週刊誌が1.61倍に増加しているのに対し、書籍が約半分に落ち込んでおり、全体としてはほぼ横ばいで推移しています。(図3)


